

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、平素は、町政の推進につきまして、格別のご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私も周防大島町三代目の町長として就任三年目に入りました。この間、新型コロナウイルス感染症は、収束の見通しが立たないまま、社会はウィズコロナに舵を切り、コロナ禍においても経済活動を停滞させず、社会活動や住民生活を維持・発展させる方向に進んでいます。

このような状況下において、本町では、5回目までのコロナワクチン接種を行うとともに、感染防止対策を徹底したうえで、徐々にイベントや各種行事を再開してまいりましたが、コロナ禍前とは比べようもないのが現状です。今後もしばらくは、この様な状況が続くものと思われませんが、可能な限り人々のつながりや交流などの機会を設け、地域の活性化、産業・経済など様々な分野の発展のため、全力で取組んでまいりたいと考えております。

また、本町をはじめ多くの自治体では、人口減少や少子高齢化の進展、複雑多様化する住民ニーズへの対応、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や環境問題、更には財政難といった大きな課題に直面しています。持続可能な行財政運営を確立するためには、戦略的な未来への投資が必要であり、人材育成、行財政改革の更なるレベルアップが必要不可欠であると考えます。

私の任期も後半戦に突入し、当初に掲げた「住み続けたいくなる安心・安全・充実を実感できる地域を築く」ための3つの柱「たのしい島」「すみたい島」「いきたい島」の実現に向けて、「子育て環境の充実」「安心・安全施策の拡充」「地域産業、経済の活性化」等の各種施策に、初心を忘れることなく、邁進するとともに、地方自治の原点に立ち返り、町民の皆さまが抱く希望や要望、ご意見を気楽に持ち寄り、全世代が主人公として共通意識を持てる工夫と仕掛けを考察し、実行してまいりたいと考えております。

新たな年を迎えるにあたり、これら課題への取り組みと、地域に密着した事業を中心に、勇気と真心を持って、皆さまと共に歴史と伝統ある周防大島町の繁栄と発展を目指し、全力で町政を運営してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和5年が町民の皆さまにとりまして最良の年となりますことを心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

周防大島町長 藤 本 淨 孝